

～TANKYU～

谷地南部小学校

校内研究だより

2022. 11. 28

No.35 文責 伊藤

学習習慣とは？

以前より、TANKYU や KENSYU で話題にしていることですが、私たちに求められていることは、必ずしも宿題を課すことではありません。何度も登場していますが、以下の文章によるものです。

(1) 確かな学力（第1章第1の2の(1)）

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童の発達の段階を考慮して、児童の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するように配慮すること。

(小学校学習指導要領解説総則編 p.23)

目的は、「基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させること」「思考力、判断力、表現力等を育むこと」「主体的に取り組む態度を養うこと」「様々な人々との協働を促す教育の充実に努めること」です。それを実現するために南部小では、**主体的、対話的で深い学びの実現を目指して**研究を進めているわけです。そこには、場の工夫があり、学習プリントの工夫があり、単元計画の工夫がありと、様々なアプローチが存在します。家庭学習への取り組みもその一つで、その中には宿題を出して取り組ませるという方法もあります。

本校では、「家庭学習の充実」に力を入れています。3年生でも、家庭学習の内容は本人や家庭の判断に任せていますが、毎日何かしらは取り組みましょうというスタンスを取っています。前号のKENSYUでも書きましたが、今の私の悩みは「全員分の家庭学習の取り組みが揃った日が一日もないこと」です。先日、研究主任と話した時に言われた言葉に私ははっとしました。

伊藤先生にとって、「学習習慣」ってどんなイメージ？
毎日6～7時間も学校で学んでる子ども達って、
すごい習慣だよな。

By 荒本秀樹



学習指導要領解説総則編を読んだ私の頭の中は、「学習習慣＝学校外」というイメージになっていました。確かに、学校でも家庭でも社会でも「学習」しています。それであれば、家庭学習だけにこだわるのではなく、家庭との連絡・連携を密にして、学校での学習への取り組み方を考えてより良くしていくことも、学習習慣の確立に繋がっていくのではないかと思います。学校だけが頑張るのは変ですが、私たちは私たちにできることを精一杯進めてまいりましょう。